

山内の 75 歳以上の方々より、自形式で回答いただきました。

# 高齢者の自家用車運転と運動能力の自覚 アンケート結果報告 NO.1

高齢化率が、40%を超える山内学区で、高齢者が移動手段として自家用車を運転するのは、生活に不可欠なことです。しかしながら、加齢とともに低下する筋力や瞬発性、判断力などは、個人差はあったとしても否めず事故につながる危険もあり、大きな課題であり対策を講じることが急務です。

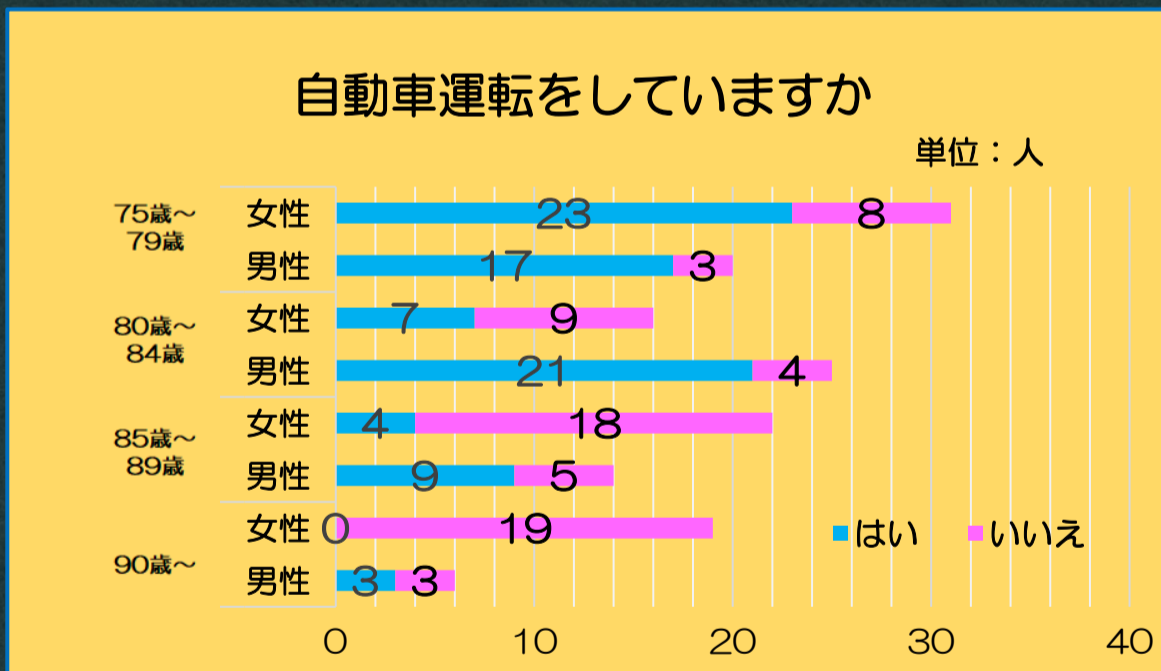
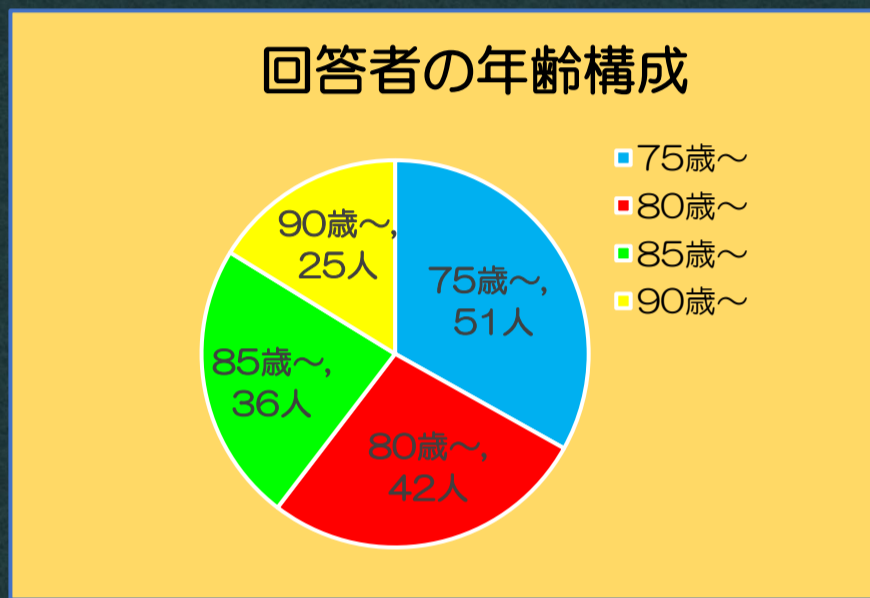
山内自治振興会地域福祉部では、課題解決を図る手がかりのために、令和 2 年 9 月に対象となる 75 歳以上の高齢者の方々にアンケートを行いましたので報告します。なお、今回のアンケート配布、回収には地区ごとの女性の振興会役員の協力を得ました。これからの方策に活かしていきます。

【アンケート実施方法】令和 2 年 9 月

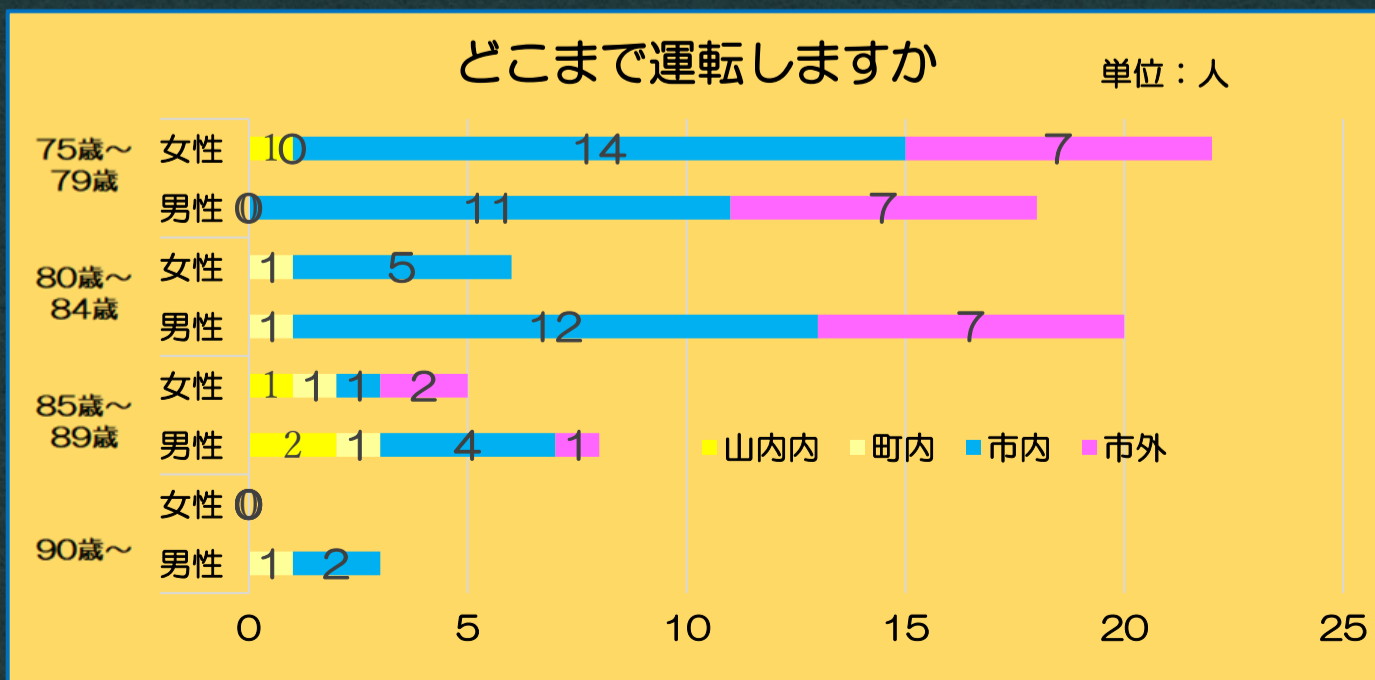
地区ごとの女性役員により配布、回収は郵送または使送で山内地域市民センターに提出

【回収率】181 名配布 157 名回収（回収率 86.7%） 有効回答数 154

地区	男	女	合計
黒滝	8	11	19
上の平	11	12	23
中ノ組	11	9	20
市場	9	12	21
川西	8	10	18
猪鼻	4	9	13
笹路	3	5	8
山中	8	10	18
山女原	3	7	10
無回答	0	4	4
合計	65	89	154



自動車運転をしている人を年代別で見ると、75～79歳は78.4%、80～84歳では68.3%、85～89歳では37.1%、90歳以上では12%の方が運転をされています。また運転をしていない人で「免許返納した」人は、24人(15.3%)で80歳～85歳くらいで返納されています。「もともと運転しない」人は41人(26.6%)でした。



**70人中27人  
(38.6%)が  
85歳までの運転  
を希望**

年代別で見ると、75～79歳代、80～84歳代で「市外」に車で運転しておられます。用途として、買い物、趣味、家の用事などです。仕事をされておられる人もいます。